

長野県町村会会長賞

「昔の人は」

平谷村立平谷小学校

5年 高見 聖耶

毎年、五年生が田んぼを担当します。水はけが悪くて、日当りがあまりよくない田んぼ。午後になると日がかげるのが早い田んぼ。猿が出る田んぼ。広さは、四せ～五せくらい田んぼ。水は、標高九〇〇メートルもあるので、冷たい。こんな田んぼで、今年は、僕達男子三人が米づくりに挑戦しました。まず田植えです。平谷小では、全校で田植えをします。一本一本大事に苗を植えていきました。田の中はぬるまっこかったです。田植えが終わって、稲がのびる頃、稲が虫に食べられてしまいました。心配しましたが、肥料をまいたら、元気になってきました。九月、田の草取りをしました。田んぼの中は、オモダカという草をはじめ、たくさんの草が生えていました。足の感覚が気持ち悪いし、虫がいたので、嫌でした。でもがんばって稲をふまない様に取りました。何日も取りました。とてもたくさん取った気がします。取った草は、畑の肥料にするので、しっかりどろを落として、とりにある畑に一輪車にのせて運びました。最後やる頃には、楽しくなってきました。今まではやりたくなかったのに、楽しくなってやりました。たくさん草を取って畑の肥料にしました。十月、稲かりの季節です。所々稲の成長が良かったり悪かったりで、たけが短い稲も長い稲もありました。今年は、雨がふり続いてしまったので、田んぼがどろどろでした。でも、かわくまで待ち続けると、稲がだめになってしまうので、どろどろでも手で稲かりを始めました。田植えと同じに全校で稲かりをしました。田がどろどろで少ししか、かれませんでした。その後も五年だけで、稲かりをする日が続きました。かった稲は、あぜまで運び束にして、それを何回もくり返しました。その後、ひもで結びました。何回もくり返しくり返したので、ひもで手のひらがすれていたかったです。何日か晴れた日が続いたので、先生がバインダーを使いかりました。機械はとても早かったです。僕達も初めて機械でかる体験をしました。機械でかるのは、楽しいし、楽でした。先生が「昔の人はお米の一つぶ一つぶを大切にしていた。」と言っていました。僕は田んぼをやる前には、どうしてそういう事を言うんだろうと思いました。僕は今までの田んぼの仕事をしてみて、お米づくりは、すごく大変だったからなんだなあと思いました。昔の人達は、どんなに米を大切にしていたのか、どんだけ大変だったのか、分かった様な気がします。これからは、その大変さを思っでご飯を食べたいです。稲かりが終わったら、はざかけをしました。先生が言った通りに稲の束をかけました。全部かけられて、良かったです。後は、だっこくをして、自分達で食べます。ひまわりの湯で、僕達が作った米を売ってみます。学校給食でも皆に食べてもらいます。その日が早く来ないか楽しみにしています。